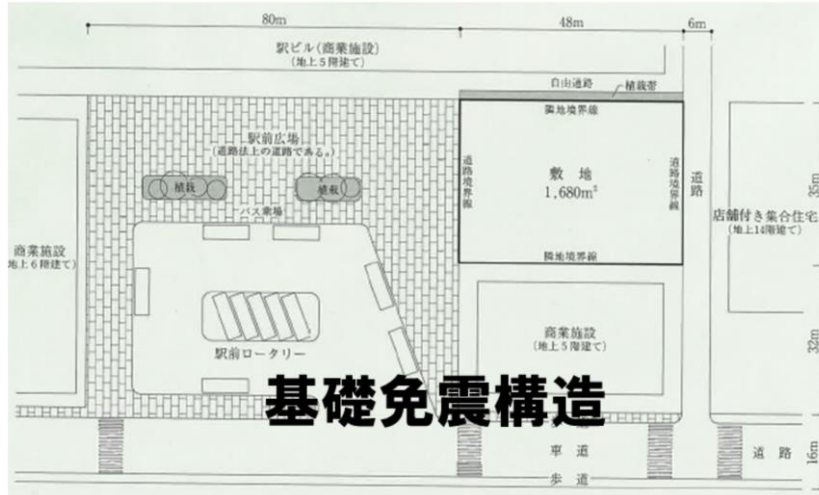


# R6大学の本試験の参考解答図アップ コメント各3点、図面はHPに同時アップ



建築資格研究会：[www.kenchiku-shikaku.net](http://www.kenchiku-shikaku.net)

令和6年、大学の試験課題に対する参考解答図を解説します。

研究会のホームページ(無料講座)に図面をアップしています。

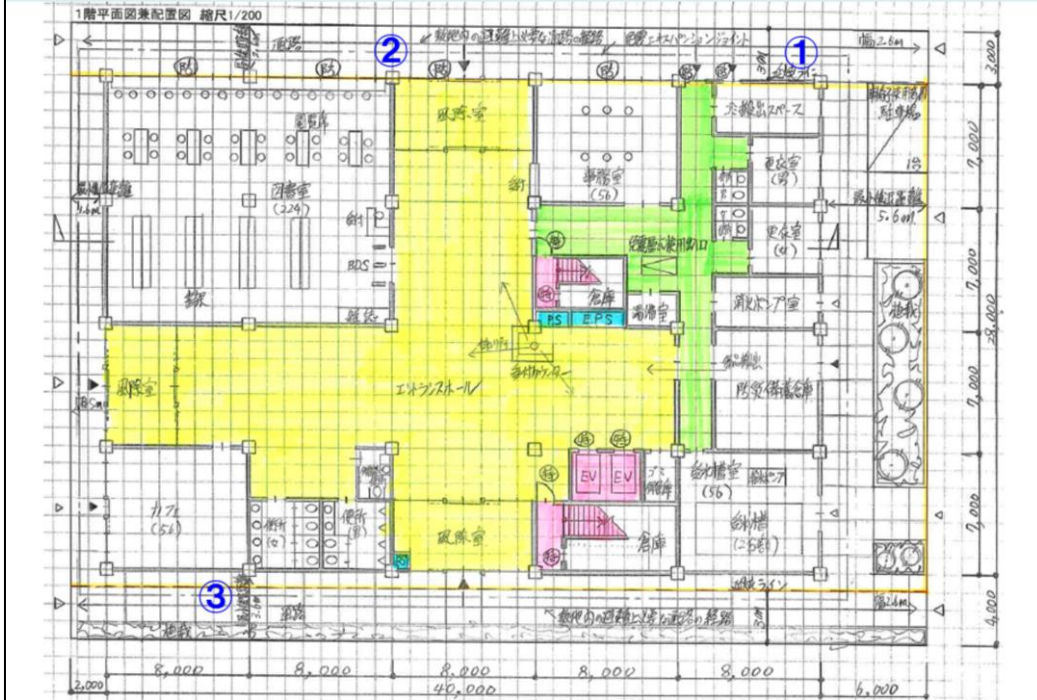
なお、1点だけお伝えします、本日、皆さまは、資格学校で復元図を検証したかと思います。

残念ながらとなった方は、学校から長期講座の勧誘を受けたと思いますが、課題前の長期講座は、課題後の短期講座より約30万円も高いので、受講しなくて良いです。

理由は、既に作図力があること、過去問学習なら研究会の資料で十分だからです。

研究会の年会費は、たったの3万円です、ご検討いただくと幸いです。

# 1階平面図



1階平面図での注意点は、下記の通りです(番号は図と連動)。

- ① 延焼ラインは、南北が敷地境界線から、東が道路中心線から3mと5mです。

これは、敷地内の全てに書く必要があります、位置の間違いは一発不合格と判断します。

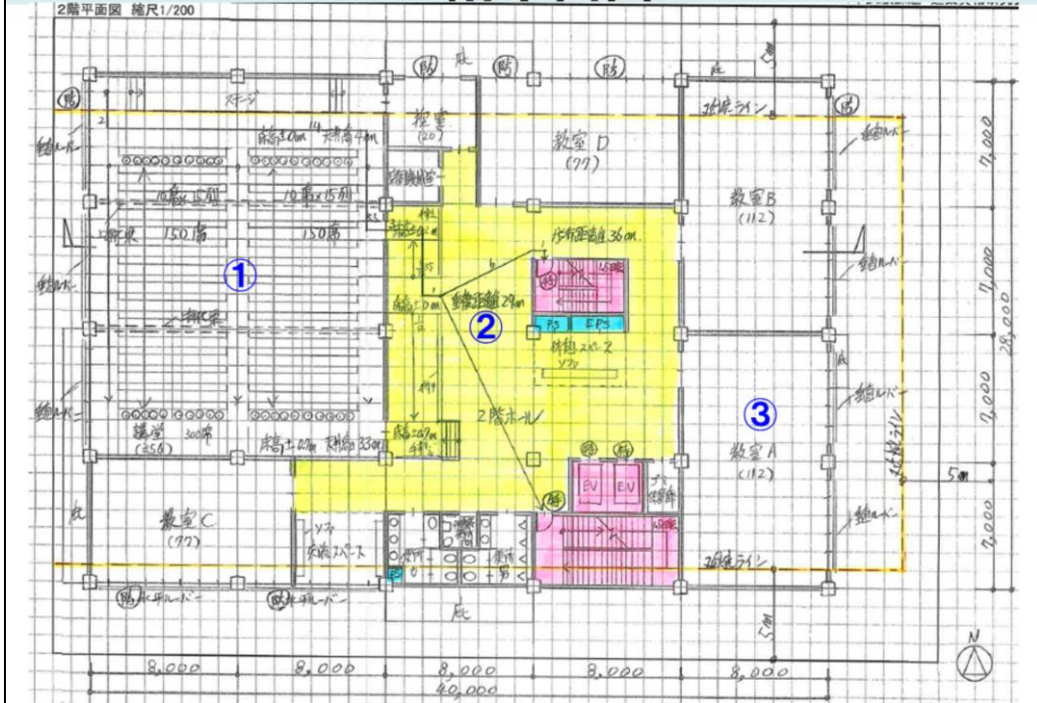
- ② 建物の外周1.5mの位置に免震エキスパンションジョイントが必要です。

その周囲50cmに物は置けません、車も同様、免震点検口も必要ですが、こちらは減点止まりと判断します。

- ③ 東西南北に建物からの最小後退距離を書く課題指定があります。

これを書いていないと一発不合格と判断します。

## 2階平面図



2階平面図での注意点は、下記の通りです。

① 講堂には、座席300席、前方と後方に床高と天井高さを書く課題です。

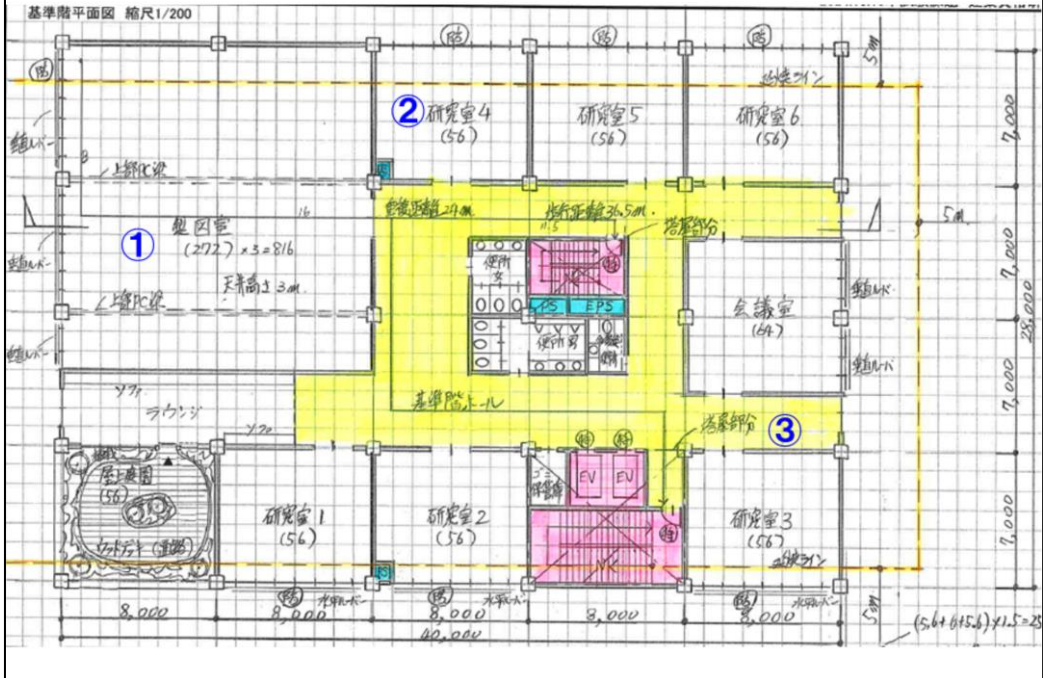
これを書いていないと一発不合格と判断します。

② 2方向距離は、大空間となる講堂があるので、重複距離30mには注意が必要です。

③ 教室は、床面積してではなく人数してです。目安として1人当たり1.5㎡程度を乗ると室内面積がでます。

50人なら75㎡、80人なら120㎡程度が目安となります。

# 基準階平面図



基準階平面図での注意点は、下記の通りです。

① 製図室は、合計の床面積の指定があります。基準階と3階とするなら700㎡の1/3で233㎡以上です。

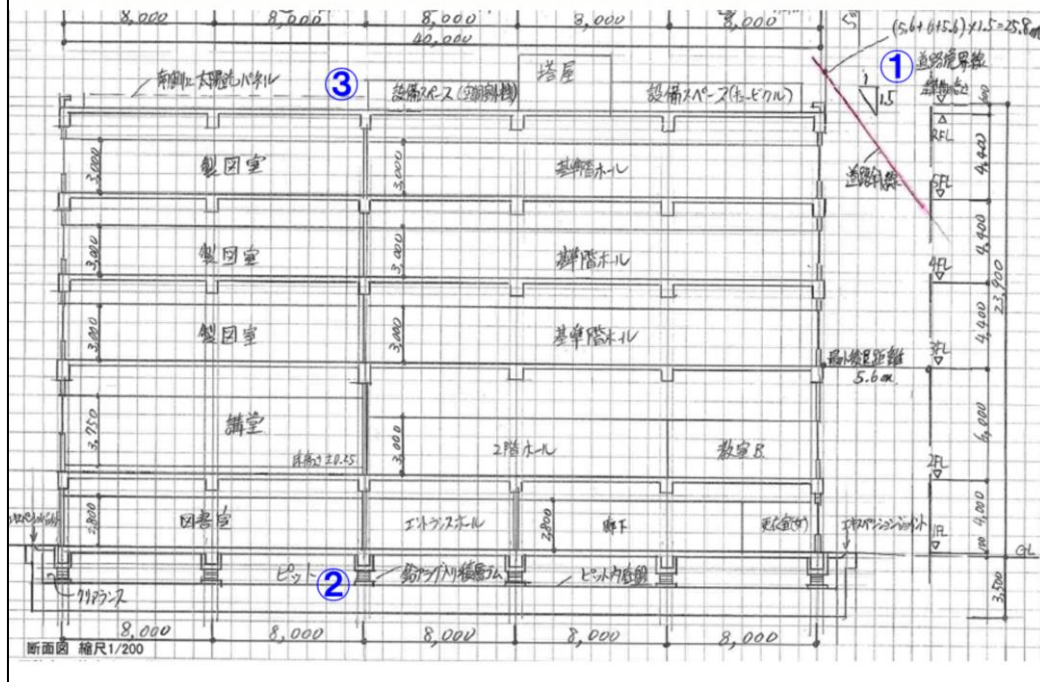
天井高さ3mもあるので、階高は、階段の段数を変えないなら、4.4mが良いです(蹴上22cmより)。

② 研究室は、50㎡以上指定があります。スパンを8m×7mにすると一マスで納まります。

③ 塔屋部分は、破線で書く指定があるので、これを書いていないと一発不合格と判断します。



## 断面図



断面図での注意点は、下記の通りです。

- ① 道路斜線は、最小後退距離、計算式を書いていない、または間違っていると一発不合格と判断します。
- ② 免振基礎構造は、断面図に出てきます。鉛プラグ入り積層ゴム等を書きますが、これを書いていない場合は、減点止まりと判断します。
- ③ 屋上は、設備スペース(空調室室外機、キュービクル)と太陽光パネルを設置する指示がありますので、書いていないと一発不合格と判断します。

以上で、R6大学の試験(図面)の解説を終了します。